



若狭神宮寺とその正面で  
撮った全員写真

## 強運のアイセス若狭小浜に行く

昨年10月16日の早朝、天気予報は大型台風が三宅島付近を北東に通過し西日本も大雨の警戒が必要と伝えていました。アイセスの親睦旅行の一行がバスで小浜に向けて出発した日です。小浜もかなり雨が降ったらしく一行が到着してバスを降りると木立も地道もしっかりと濡れていました。あたり一面が年月を経た控えめな色調の視界の中、訪問者の心づもりを裏切るように羽賀寺の十一面観音像はあでやかなお姿でした。多田寺、明通寺、神宮寺と巡りましたがそれぞれのお寺に佇む仏像はどこか奈良におられる仏様のような近しさを感じた方も多いのではないのでしょうか。

この旅行で書き留めておくべきは一行の強運です。昼食を取っていると、突然、閉め切ったガラス窓をバサバサと打ち付ける大雨が降ってきました。ところが昼食を終えてバスに向かう時は十分にあらぶった満足からか傘もいらぬほどの細かい雨足になりホッとしました。こんなラッキーなタイミングは寛容な裁量で頂いた私たちの日頃の活動へのご褒美に違いありません。一行のバスは午後8時過ぎにご好意で使わせていただいた斑鳩ホールの駐車場に帰着し、長旅を引き受けて下さったバスの運転手さんにお礼を言って家路に向かう時は大雨警戒の名残もない程静かな夜空でした。



## 楽しくガイド、おもてなしの心で！

新会長 久富喜美子



一昨年秋20周年を祝い、その折に計画された活動・ガイド強化キャンペーンによるガイド数が委員の皆さまの努力、そして会員皆さまのガイドへの熱意により、今春は前回は上回るという嬉しい報告に接しました。

そんなときに思いもかけず会長の重責を担うこととなり、襟を正しているところです。会員皆さまのご協力をいただく中で会員皆さまにとって活動しやすい会を目指したいと思いますが、同じく私と共に重責の一端を担ってくださるすばらしい5人の役員の皆さまと力を合わせて取り組んでまいりたいと、今、前向きな姿勢です。

アイセスに入会13年目、もう古参です。当会はガイド、そしてそのための研修を主としています。その他に、斑鳩町内中学生への英語での法隆寺ガイド学習の支援、小学校においてジェットロ招聘の外国の方々の通訳など、実のある活動がなされています。しかし、すべての会員がアイセスの活動を同じ目線で捉えているのでしょうか？結論を固定せずに、みんなで一度考えてみたいこともあります。どのボランティアの会にも言えることですが、やはり、会員みんなの意思疎通が図れ、会員みんなの顔が見える会でありたいと思います。

特に当会は、日本を訪れた外国の方々に“おもてなしの心”でガイドしています。そのために英語をはじめさまざまな学習が必要ですが、実はそれは一人でもできることです。しかし、会として、和やかに、何かの時には一つになれることが必須です。そのためにも、定例会や会の企画事業への参加をぜひお願いいたします。

2月の定例会で、すばらしい発言を耳にしました。「私はガイドがしたくて、ガイドを楽しみたくて入会したのです」。これは会員皆さまの一致した想いでしょう。コミュニケーションを図る中で正に実現可能なことです。皆さまのご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、斑鳩町観光協会会長小城利重様はじめ観光協会の皆様のご指導・ご支援をよろしくお願いいたします。

大好評の折り紙。鹿、鶴、独楽など300点を超える作品を作り、お客さまに好きなのを選んで頂きました。



## 斑鳩アイセスSGG活動



平成24年	主な活動内容
4月 9日	3月31日に始まったガイド強化期間日終わる
28日	<b>平成24年度斑鳩アイセスSGG総会</b> 中谷清子氏が日本政府観光局(JNTO)から表彰される
5月 13日	横浜商科大学国際交流センター一行10名ガイド
26日	<b>定例会</b> 秋季キャンペーンについて
31日	アメリカCACV大学一行ガイド
6月 1日	近畿大学国際交流室一行ガイド 中国からの一行10名ガイド
3日	奈良県ボランティアガイド研修会(安堵町ボランティアガイド主催)(アイセス1名)
17日	カリフォルニア州立大学日本語科一行22名ガイド 斑鳩中学校3年生を対象に法隆寺について講義
18日	斑鳩南中学校3年生を対象に法隆寺について講義
23日	<b>定例会</b> 松本寛器氏学習発表「懸魚について」/年間活動スケジュールを検討
28日	貿易振興機構招待外国人教師一行ガイド及び斑鳩東小学校訪問通訳
7月 5日	斑鳩南中学校一行92名日本語でガイド(アイセス12名)
8日	斑鳩中学校一行145名日本語でガイド(アイセス20名)
28日	<b>定例会</b> 井上秋男氏学習発表「仏教世界の宇宙観」/秋季キャンペーンについて
9月 29日	<b>定例会</b> 法隆寺長老高田良信氏の講演「昭和大修理の秘話」(実相院にて)
10月 8日	斑鳩南中学校法隆寺事前学習(アイセス5名)
14日	貴志川ユネスコ協会一行35名(アイセス5名)
15日	イギリスの大学日本語科一行18名(アイセス3名)
16日	若狭小浜へ親睦旅行
18日	斑鳩南中学校生徒42名天理大学留学生5名を法隆寺ガイド(アイセス6名)
25日	山口県からの一行20名(アイセス5名)
28日	同志社女子大学国際交流センター一行(アイセス2名)
11月 8日	斑鳩中学校法隆寺事前学習(アイセス5名)
11日	ビジットジャパンキャンペーンで台湾人と奈良県職員一行10名
15日	タイから団体一行 秋季ガイド強化期間始まる(11月24日まで)
20日	シンガポールの高校生一行55名(アイセス9名)
23日	奈良市での国際会議参加者一行64名(アイセス15名)
24日	<b>定例会</b> アダルシュ・シャルマ氏の講演 "Introduction of Japanese Culture to Foreigners"
12月 5日	斑鳩中学校生徒26名天理大学留学生7名を法隆寺ガイド(アイセス7名)
19日	奈良県ボランティア連絡会及び忘年会参加(アイセス1名)
22日	親睦交歓会
1月 26日	<b>定例会</b> 次期役員選出について話し合い
2月 23日	<b>定例会</b> 元ユネスコ事務局長竹尾徳治氏講演「世界遺産の持つ意味・楽しみ方」
3月 23日	<b>定例会</b> ガイド強化期間実施に関して
24日	奈良県ボランティア連絡会(アイセス1名)
29日	2014年度春期ガイド強化期間開始



接人如春 中国語班

中国語班は現在6人。うち女性2人という構成です。

月1回は必ず研修のための例会を開きます。iセンターに集合して、テキストについて研究し、法隆寺境内を実際に歩いて実習しています。もちろん、中国語のお客さんを見つけたら即、ガイドします。日本に来ている留学生の一团や家族連れ、台湾の小学校の先生グループなど何回もこうした機会がありました。

班の強みはなんといっても穆さんの存在。あやふやな発音はキチンと直してく



れます。また、テキストの内容も的確な指摘で、生きた中国語になります。

尖閣問題以降、中国人の姿は減ってはいますが、台湾や香港からのお客さんも絶えません。最近、予約客も増えてきました。今後、中国語ガイドの機会はますます多くなるでしょう。メンバー全員頑張ります。(岡樞夫)




ICESでフランス語での法隆寺ガイドを始めて早2年半、フランス人の法隆寺への来訪が意外に多いことに正直驚いています。フランス人もフランス語でのガイドがあること自体に驚き、フランス語で話しかけると非常に親近感をもって接してくださいませ。ガイドでは、フランスに



関係する出来事、たとえば金堂の中の勢至観音についてや大宝蔵院の百済観音については必ず話すようにしています。

歴史的にみてもフランス人は日本の文化に非常に興味をもっている所以他の国の方より日本についてよく知ってい

フランス語でのガイドを通して

るように感じています。また最近では年配の方だけでなく若いフランス人が多くなっていることも私にとっては驚きです。彼らに聞く  と日本のアニメに関心を持つ  ている人が多いようです。7年後には日本でオリンピック  が開催されます。法隆寺を訪れるフランス人の方々が心から満足して喜んでくださるよう、日々精進していきます。

À tout les français, je vous attend!

(宮城まり子)





## 会長退任にあたって

小川勝

前会長の岡本昇氏から指名され会長を引き受けさせていただいてから4年間、大過なく勤めさせていただいたのは会員の皆様方及び観光協会他関係の皆様方の絶大なるご協力の賜物と退任にあたり感謝申し上げます。

この間、昨年度には斑鳩アイセスSGGの創立20周年に当たり、このような大事な記念事業に会長として勤めさせていただいたことはめぐり合わせとはいえ大きな名誉であったと思います。私自身アイセスの20年間の歴史の中でわずか10年弱の活動実績しかありませんが、20年の歴史の中では現会員及びすでに退会された方々を含め多くの皆様の活動の積み重ねだと20周年事業の企画運営の段階でアイセスの歴史を振り返ってみてしみじみと思い起されました。

又、在任中には「奈良県観光事業に対する貢献」による奈良県知事表彰や、同じく斑鳩町長からの表彰状の授与などの榮譽に浴したことも先輩諸氏の活躍の積み重ねの結果だと改めて感謝したいと思います。

話題を変えて、近年中国・台湾など中国語圏の観光客が年々増加してきており、平成25年度のアイセスの国別ガイド実績を見るとついに中国・台湾人のガイド人数がアメリカ人を抜き第1位になりました。また政府発表の外国人の来日数も中国人が1位になっております。この傾向は今後も続くと思われまます。アイセスの中国語ガイドグループは4年前から徐々に研修を重ね、昨年ごろからよちよち歩きながらも中国語でのガイドを始め、現在は6名の会員が中国語でガイド活動をするまでに成長しました。とはいえ、今のところ中国語系の観光客に対し英語でガイドするケースが多い実態ですが、中国語ガイドをもっと増強して法隆寺に来られる中国語系観光客に満足していただけるようになるのが退任後の夢でもあります。

会員の皆様の今後のご活躍を祈念して退任のご挨拶と致します。

## [2013年度退会者] (敬称略)

東侑子、森本隆晴、前田晃、大江真幸、柳澤孝之、矢澤美紀子、松本美和子、深谷千恵子、松本維久子、三橋恵子

## [2013年度入会者] (敬称略)

竹中啓二、後藤克己、中森靖代、半井省三、上家富安、中澤麻子、和田容輔、廣瀬重親





### A班 一年間を振り返って

この一年のA班活動は班員皆さんの協力のおかげで遂行できた。宮城さんの講義「フランス人の日本への関心」ではパリ万博の背景など興味深い話が聞けた。自ら作成した法隆寺ガイドテキストをその内容、英語表現の妥当性等に関してみんなの意見を聞きたいとのことで前田さん作成のテキストを2回にわたり検討会を行い、活発な意見交換があった。屋外活動は暑い7月の龍田神社・吉田神社へ

の現場研修、また今年度最後の活動として2月に机上学習、3月に東大寺での現場ガイド研修をいずれも服部さんのリードの下で行った。班員の積極的な参加活動のおかげで楽しく有意義であった。仕事の関係からどうしても参加できない方があり残念であった。改めて、お互い忌憚無く意見を出し合い討議をすることで楽しく且つ有意義な活動ができるということを皆さんに教えていただいた。どうもありがとうございました。(小菅和)

### B班 一年を振り返り次年度への提案

班会で1年間の班活動を振り返ってみました。B班では以下のような4回の活動を行いました。

8月29日(木) 伝香寺と大安寺、親睦昼食会

9月26日(木) 小浜地方研修旅行勉強会

11月29日(金) 大和七福八宝霊場巡り(1)

1月12日(日) 大和七福八宝霊場巡り(2)

それぞれ6名～10名の参加者があり、皆で親睦を深めながら楽しい一日を過ごすことができました。次年度への提案として

以下の意見が出ました。

- ① 1つの班の人数が少ないので、既に班長や副班長を経験した人が多く、次年度のなり手がいない。また班で勉強会をするにしても、なかなか企画できる人がいない。1つの班の人数を増やしてはどうか。
- ② 新人の研修をICESとしての研修とは別に班単位で行ってはどうか。
- ③ 奈良市内のガイドを希望する観光客が多いとのことなので、要望に応えられるように、班の勉強会で奈良の寺社の勉強をしてはどうか。(谷本佳代)

### C班 班活動を振り返って

2012年度1年間を通して、法隆寺のガイドだけではなく「東大寺・興福寺・春日大社・奈良町」のガイドもできるようにと、座学研修と英語によるガイド実地研修を行ってきました。

この流れを受けて、2013年度も年度当初の班会での話し合いで、前年度やり残した奈良のお寺を中心に合計5回の実地研修

を実施することにしました。5回の現場研修の内訳は「薬師寺・唐招提寺・中宮寺・法輪寺・法起寺」での実地研修を3回、さらにホームグラウンドである法隆寺のガイド知識・技術向上をめざして、観光協会紹介の日本語ガイドさんによる研修を2回行いました。

3回行った英語による実地ガイド研修では、説明個所の分担を参加者全員で行いました。模擬ガイドとはいえ参加者は皆さん(7ページに続く)



真剣かつ和気あいあいとした雰囲気でも楽しいものになり、法隆寺ベテラン日本語ガイドさんによる内容豊富な研修と併せて5回の研修はいずれも好評でした。班研修での数少ない実地ガイド練習程度ではとても実際にお客様をお連れしてガイドなどで

きるわけではないのですが、繰り返し練習することでガイド説明にも厚みが増してくるはずです。そういった意味で班活動などあらゆる機会を活用して模擬ガイド練習する必要があると感じています。(片岡昇)

### D班 班活動次年度に向けて

D班では次の4つの班活動を計画しそのうち歴史ハイキング以外は実行しました。

- ① 天理参考館で「漆」を学習
- ② 古代ガラスを学習
- ③ 秋の歴史ハイキング
- ④ 奈良大学世界遺産講座「法隆寺」聴講

D班には多岐にわたっての研究者が何人もいて、自班だけで留めておくにはもったいなかった。次年度に向けての要望かつ願いは広く会員の方々と知る機会を共有した

い。必要な資料に必要なお金はアイセスが負担し、時間の許す限りいいものは分け与えて頂く。これによって会員の知識が豊かになるのではないだろうか。歴史散策は悪天候で中止にはなったが参加者二人では惜しい。このような活動は全会員に呼びかけてもいいだろう。次年度には各班が取り組んだ内容を定例会で発表するのも大切な事だ。一回見聞した知識を反芻する事により、発表者も聴衆も一層知識を身につけることができるという大切な行為の実現を要望します。(八尾鈴子)

### E班 一年を振り返って

E班も月1度の班活動を行うことを目指して活動してきましたが、一年を通し月例会と班活動の出席率は思わしくなく低調なものでした。他の用事と重なる、ご本人又はご家族の体調が悪い、参加しても楽しくない等不参加理由をあげられる会員が多かったのです。

それでも回を重ねるごとに会員同士の親睦が深まり、今年になってから開かれた2度の班活動は来期につながるものになったと思います。

一度目が開かれたのは、「原則、一人一人が班活動の世話役を引き受けよう」という提案があり、その折、岡さんから、「昨秋新疆ウイグル自治区に行ったお話ならできるよ」と言っていた行き行われたものでした。二度目は、岡さんのお話の途中に出たプーアール茶（本来のお茶は円盤形に固められたもの）の話から実現したもので、穆さんが中国茶の楽しみ方を実演付きで話してくれました。

年度末の班会ではこの2回の班活動を場当たり的に決めたことを反省いたし、次回3回目の概要を決められたことはよかったです。と思います。(富本肖子)



## 2013年度の予約の特徴は次の3点にまとめることができます。

1. 予約の総数は昨年度を大幅に超えて87件ありました。内訳は77件は英語、8件は中国語、2件はフランス語です。総数の内6件は奈良・唐招提寺方面案内で、すべてがアイセスホームページからの申し込みでした。
2. 海外の大学の日本語学科、あるいは日本の大学の国際交流センター、高校やビジネススクールなど学校からの予約が際立っています。
3. ゲストハウスなどに配布しているチラシがアイセスを知って頂く媒体として期待できるでしょう。予約が4件、当日依頼が数件と手応えがあります。

## 2013年度団体予約ガイド実績 (ほぼ10人以上の予約)

日時	団体名	人数(日本人含む)	ガイド人数
5月13日(月)	横浜商科大学国際交流センター(英語)	10人	1人
5月31日(金)	アメリカCACV大学(英語)	8人	2人
6月1日(土)	中国(中国語)	10人	5人
6月1日(土)	近畿大学国際交流室(英語)	17人	2人
6月14日(金)	国立民俗学博物館(英語)	15人	5人
6月16日(日)	タイ人と日本人の団体(英語)	10人	2人
6月17日(月)	カリフォルニア州立大学日本語科(英語)	22人	7人
6月28日(金)	貿易振興機構US(カナダ、アメリカ、ベルギー)(英語)	11人	3人
7月5日(金)	斑鳩南中学校(日本語)	92人	15人
7月8日(月)	斑鳩中学校(日本語)	145人	21人
10月14日(月)	貴志川ユネスコ協会(日本語)	35人	7人
10月15日(火)	イギリスの大学日本語科(英語)	18人	3人
10月24日(木)	山口県から団体(日本語)	20人	5人
10月26日(土)	同志社女子大学交際交流センター(英語)	10人	2人
11月15日(金)	タイ人団体(英語)	16人	3人
11月20日(水)	シンガポールの高校生(英語)	55人	10人
11月23日(土)	奈良市での国際シンポジウム参加者(英語)	64人	16人
11月27日(水)	マレーシア人、中国人団体(英語)	11人	1人
3月7日(金)	ワシントン大学ビジネススクール	20人	3人

発行責任者：斑鳩アイセスSGG会長 小川勝  
 事務局：法隆寺iセンター内 / 電話：0745-74-6800  
 ファクシミリ：0745-75-9090

### 斑鳩アイセスSGGの概略

設立：1992年10月  
 会長：小川勝  
 会員数：55名(2014年3月末現在)  
 会員年齢層：20代から80代  
 活動実績：2200人を超えるお客様を案内



### [編集後記]

各班の個性的な活動はどれも参加してみたいと興味をそそられます。それだけに会員に参加を呼びかける案内の仕方に工夫が要りそうです。班活動の企画や参加者数の悩みの解消には合同班活動も一案でしょう。「三班よれば文殊さまもにっこり」企画を期待できるのではないのでしょうか。(英)



